

国が2023年に導入を狙う消費税のインボイス（適格請求書）制度は、シルバー人材センターの会員として働く70万人の高齢者にも消費税負担増をもたらします。「年金だけでは生活できないから働いているのに、負担増など許せない」と当事者たちは憤ります。（青柳克郎）

# わずかな収入から10%「強制」徴収

## シルバー人材70万人 大打撃

「年金は夫婦の国民年金だけ。生活費にかかる消費税10%も重く、とても生活できません。さらに収入の10%を消費税として取られるなんて、納税できない」

東京都足立区の74歳の女性が言います。

小学生の登下校時、横断歩道で旗をもって誘導する仕事をしています。月30時間ほど働き、月収

### インボイス NO!

会員とシルバー人材センターの関係は業務委託です。インボイス導入後は、センターが国に消費税を納税する際、仕入れ税額控除（売り上げで受け取った消費税から、会

員に報酬とともに支払った消費税を差し引くことをするには、会員が発行したインボイスが必須になります。健康で文化的な生活なんて程遠い」

東京の平均年収は44万円、1000万円以下で、全国シルバー人材セ

員に報酬とともに支払った消費税を差し引くことのため免税業者ですが、インボイス発行には課税業者として税務署に登録しなければなりません。全ての会員が課税業者に



シルバー人材センターから委託を受けてマンション清掃をする女性＝東京都内

ンター事業協会は委託会員に支払う報酬から消費税額を差し引くことも検討しています。

「高齢者からさまざまな楽しみを奪って良いのでしょうか？ 私たちのわずかな収入から消費税を取るなんて許せない」

日本共産党の清水忠史衆院議員は4月20日、衆院財務金融委員会で質問。インボイス導入はシルバー人材の高齢者にとって「あまりにもひどい仕打ちだ」と述べ、導入中止を求めました。

全国商工団体連合会は導入中止を求める請願署名を進め、世論を広げています。